

岩手労福協

発行

(一社)岩手県労働者福祉協議会
盛岡市菜園1丁目3-6 農林会館7F
TEL (019) 654-3082

発行責任者 齋藤 健市
編集責任者 菅野 健司

No.152 2017年1月20日発行



(盛岡市 岩山から見た岩手山(啄木望郷の丘))



2017・酉年の年頭にあって

一般社団法人岩手県労働者福祉協議会

会長 齋藤 健市

あけましておめでとうございます。

憲法25条をご存知ですか。憲法25条は「①すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」と国民の生存権を謳い、そのことを実現するための国（政府）の施策義務を規定しています。しかし、今の政府は憲法を無視し「富める者はますます富み、貧しき者はますます貧しくなる」政治を強めています。あらゆる世代や層で格差、貧困が拡大し、非正規労働者、ワーキングプア、奨学金返済、貧困児童、教育格差、長時間労働、過労自殺などの切なくやるせない現象が表れています。

今こそ連帯・協同を理念とする協同組合や労働組合が、憲法25条の具現化を政府に強く求めるとともに、安心して暮らせる社会の構築を追求しなければなりません。労働者福祉の充実のため岩手労福協への引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

2017 謹賀新年



2017年 年頭挨拶

労働者福祉中央協議会

会長 神津 里季生

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにご協力いただきました約304万筆の署名が世論のうねりをつくり、政府は給付型奨学金制度の創設に向けて動き出しました。一歩前進ではありますが、対象者や金額はあまりにも小規模です。今後の予算や法案の審議で少しでもより良い内容に改善し、将来に向けて拡充していく道筋をつけていくことが必要です。若者の未来を支え持続可能な社会とするために、この機を逃さず、みんなの力を結集し、何としても成果を勝ち取りましょう！

いま、世界中で格差と貧困が拡大し、一部の者が富を独占し、中間層も分解され二極化が進行しています。加えて、多様性を否定するような動きも強まり、社会の分断と亀裂をもたらしつつあります。日本においても、あらゆる世代・層で格差・貧困が拡大し、孤立が広がっています。今こそ「連帯・協同」に価値を置く協同組合や労働組合が手を携えて真価を発揮し、分断社会を変えていきましょう！



「働くことを軸とする安心社会の実現」をめざして

連合岩手

事務局長 八幡 博文

新年、あけましておめでとうございます。日頃から連合岩手の運動に対するご支援・ご協力に感謝とお礼を申し上げます。

さて昨年も安倍政権の暴走はますます顕著となり、国民の多くが反対している「カジノ法案」をはじめ「年

金切り下げ法案」の強行採決など、私たちが目指す「安心社会」とは程遠い政治を強行し続けています。

これに対し私たち連合は、労福協と一体での「給付型奨学金の創設」運動をはじめとした「クラシノソコアゲ応援団!」キャンペーン活動等を通じ、社会正義を内外に広く訴えつつ「底上げ・底支え」「格差是正」を実現しなければなりません。そのため、①月例賃金にこだわり、経済の自律的な成長を目指す「2017春季生活闘争」、②1000万連合を目指す「組織拡大」、③震災からの復興・再生をはじめとした「政策・制度実現」の活動、④そしてその政策実現ための第48回衆議院議員選挙の勝利に向けた「政治活動」の取り組みなど、構成組織ならびに地域協議会と連携を強め全力で取り組んでまいります。

すべての働く者・生活者のための運動を通じ「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、本年も皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。



憲法を活かす 社会づくりを

平和環境岩手県センター

議長 野中 靖志

新年あけましておめでとうございます。

昨夏の参議院選挙において、岩手では野党統一候補が勝利を収めました。国会では衆参両院で「改憲勢力」が3分の2の議席を占め、安倍政権は「憲法改正」に民意を無視して突き進もうとしています。

先の臨時国会においても、農業をはじめ国民生活全般に大きな影響のあるTPP承認、高齢者の生活を直撃する年金カット法案、国民の貧富の格差を助長するカジノ法案などを「数の力」で強行可決させるなど、安倍政権の暴走ぶりには、怒りを通り越してあきれられるばかりです。

加えて、南スーダンにおけるPKOについて、昨年11月から「駆付け警護」等の新たな任務を付与しました。

現地の治安が不安定な中、「駆け付け警護」の新任務によって、自衛官のリスクが飛躍的に高まることになります。

私たちは、国民の権利を尊重し、平和を守る礎となっている憲法の理念をいかした社会の実現をめざし取り組んでいく決意です。

今年一年、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りし、年頭のご挨拶といたします。



丁酉（ひのととり）の干支に思う

岩手友愛会

会長 石川 昌平

あけましておめでとうございます。

昨年は五輪でのメダルラッシュに沸き、岩手では国体で復興と絆をアピールし、まさにスポーツが夢と希望と感動を与えてくれた一年でした。

さて、2017年干支は「丁酉（ひのととり）」。「丁」は、壮年の男子の意味があり、果樹の形が充実した状態だそうです。ちなみに前年（2016年）の「丙」は、果樹が成熟して固まっていく状態、来年（2018年）の「戊」は果樹が固まった状態。この間にあるのが「丁」の状態で、まだまだ伸び盛りで充実期です。

しかし「酉」は、果樹が成熟しきった状態で、完成期に達した状態が「酉」です。「丁」は充実している伸び盛り、ところが「酉」は、もうこれ以上は成長しない状態。この相反する「丁酉」は何を意味しているのか。これまでの活動が一応の形を成し、発展がピークを越える一方で、周辺勢力を含めたあらゆる機運が熟して発する、いわば革命の岐路となる年です。

そこで私の考えた今年のキーワードは、大きな一歩（転機）を踏み出す前の「熟考」「慎重」です。

今後、日本が抱えるエネルギー問題、憲法のあり方、働き方改革…など将来の針路を大きく左右する重要課題には、多方からの意見をより慎重に熟考し、十分に時間をかけた国民的議論が必須であります。

私たち労福協の精神である「共に助けあう社会を築く」ことは永遠に不変です。今後も岩手友愛会は、相互扶助活動を推進して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

末尾に皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



明けまして おめでとうございます = 今年もあなたのおそばに…ろうきん =

東北労働金庫岩手県本部

本部長 砂 金 良 昭

新年明けましておめでとうございます。2017年新春を希望あふれる心でお迎えのことと思います。

東日本大震災津波から5年以上の時間が経過しているものの生活の復興まではまだまだ大変な状況があります。明るい光が地域に、そして心に差し込むよう会員の皆様とともに精一杯取り組んでいきたいと考えております。

皆さんとともに歩んでおります東北労働金庫、様々な金融相談に対応できるよう体制を整えております。まだまだ組合員の皆様に周知が不足している部分もあり、最大のメリットであるATM手数料の還元を柱に、住宅ローンの保証料の無料化、マイカーローン・教育ローンなど生活をサポートする商品、奨学金問題を受け金利を低くした奨学金借換融資制度のスタートなど、会員の方々にとってより身近な“ろうきん運動”を展開していきたいと思っております。

「知っていただき、ご利用いただくろうきん」として、今年もみなさんのおそばでお役に立つよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



新たな全労済の幕開け

全労済岩手県本部

本部長 来 内 広 幸

新年明けましておめでとうございます。昨年は「希望郷いわて国体」と「希望郷いわて大会」が開催され輝かしい記録と被災地から元気を発信することができ成功裡に終わることができたと思います。協賛団体である全労済として選手団の皆様に改めて心からお祝いと感謝を申し上げたいと思います。また、大会スローガンである「広げよう感動、伝えよう感謝」という気持ちを今後の全労済における事業展開に活かしていくことも私たちにとって大切なことだと思います。

そして、全労済は創立60周年の節目を迎え新たなスタートとなる幕開けの年でもあります。それは、「Z60」の組織改革により今年の9月に新組織が発足すること

であり、全国6統括本部制のもとで「Z60」の目標達成を目指していくことにもなります。

しかしながら共済事業を取り巻く環境は依然として厳しさが増えています。その時に、「事業の回復」と「常に健全な事業基盤の確立」を目標として掲げている「Z60」も最終年度である2017年度を迎えます。そのため険しい道のりではありますが60年の歴史に学び原点回帰のもと目標達成に向けて果敢に挑戦する年にしたいと思います。

さらに、私たち共済生協は「人の組織」によって「資本の組織」に対抗し事業実績を上げることが「優位性」でもあります。いうまでもなく、「人の組織」を支えるのは「学習」であり労働組合でも事業団体でも役職員と組合員が取り組む大切な活動であると思います。そして、次世代に協同組合の精神である相互扶助を引き継いでいく使命感をもち組織と事業を継承し発展させていかなければならないと思います。

最後に、「みんなで助け合い、豊かで安心できる社会づくり」の理念のもと全労済は「真価を創造する年」と今年を位置づけています。皆さんのお力添えを賜りながら役職員一丸となって邁進していくことを申し上げ年頭の挨拶とします。



加入者サービス向上へ

(一財) ハピネス共済会

理事長 上田 高

明けましておめでとうございます。

昨年中の皆様からの当財団に対する、多くのご支援ご協力に厚く感謝申し上げます。

当財団は、保険業法などの改正に伴い2013年9月に新法人となり3年が過ぎましたが、この間、組織の改編や事業の見直しを行い運営の効率化に努めて来ました。

また、昨年9月には、法人名称を実施事業の明確化などを目的に「一般財団法人ハピネス共済会」と改めるとともに、保険加入者へのサービス向上に向けた種々の制度改定を行ったところです。

その他、子会社を含めた不動産事業の財務体質の改善については一定の目途が立ち、将来的に安定した事業運営となるように取り組んでいるところです。

今後とも、保険加入者に対するサービスの維持向上とともに、補完事業としての不動産事業などについて将来展望を見据えた事業展開を図るべく、不断の努力を進めていく所存です。

今後とも、労働者福祉団体の一員として会員の生活向上の役割を果たしていくことをお約束し、新年のあいさつとします。



くらしを支える 相談貸付事業を行う生協として

消費者信用生活協同組合

理事長 佐藤 浩之

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当組合ならびに当組合の事業・取り組みに対するご理解、ご支援ならびにご協力をいただき、誠にありがとうございます。

当組合は、組合員の生活に必要な資金の貸付け事業と、岩手青森両県民に対するくらしや消費生活等に関する相談業務を行っております。

最近の相談状況から読み取れる特徴としましては、相談者の多くが低収入あるいは収入がなかなか増えないことから、くらしの維持または向上に必要な支出ですら思うように賄えない状況にあることが覗えること、一方では、債務整理を希望する相談が年々増加してきており、その理由としましては、税の滞納であったり銀行カードローンを複数または限度一杯に借入利用しているという状況が挙げられます。

当組合といたしましては、組合員ならびに地域住民のくらしを支える相談貸付事業を中心として本年も事業を推進して参る所存でございますが、その実効性を確保するに当たり、関係各機関・団体等とのより一層の連携の強化深化が不可欠であると考えているところでございます。

本年のみなさまのご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、当組合に対するより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。





共に安全で安心な暮らしを守る運動を

岩手県学校生活協同組合

専務理事 川 村 元

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は全国各地で自然災害が猛威を振るい、岩手においても気象庁が統計をとりはじめて以来初となる太平洋側から上陸した台風10号により、沿岸地区は甚大な被害を受けました。学校生協では台風10号被災に対しての支援活動や熊本地震への支援募金活動にも取り組みました。また、組合員の協力のもと、東日本大震災への支援も継続して行っており、昨年も沿岸4支所に合計300万円の支援金を贈ることができました。

私たちの暮らしを脅かす問題として、マイナンバー制度の導入やTPP協定、原発再稼働などがありました。マイナンバー制度は個人情報の流出という個人

情報保護の面から危うさがありますし、TPPや原発の問題については関係団体とともに運動をすすめてまいりましたが、まだまだ課題があります。取り組みの成果としては、2016年8月より子どもの医療費助成制度が、市町村で差異はあるものの、小学校まで拡充されたことが挙げられます。

さらに、組合員参加を重視した取り組みとしては、岩手県産にこだわった商品の紹介や学習を行う共同購入委員会、自らの福利について学習する福利厚生研修会、育児休業中の方を対象に子育てに関する権利や将来に向けた生活設計を学習する子育て交流会の開催などを積極的に進めてまいりました。

学校生協は学校あつての生協です。今後も子どもたちと学校に役立つ運動、安全で安心な暮らしを守る運動により一層積極的に取り組んで行きたいと考えております。本年も多くの課題が待ち構えているとは思いますが、労福協の会員の皆さん、共に運動をすすめて参りましょう。

**必要な時にすぐ役立つ
ライフパートナー！
事前審査も
カンタン！**

他行他社資金の
借換えにも!!

急な出費が
あっても
助かるね!

ろうきん
**カード
ローン**
マイプラン

変動金利
保証料込

積立型預金(財形預金・エース
預金のいずれか)ご契約者は、
年0.20%金利引下げ

**年5.80%~
年6.00%**

※団体会員の方の場合

ご利用限度額 最高500万円
※ご利用限度額が300万円超の場合、
一定の条件がございます。

毎月の返済額は、ご利用限度額ごとに一定です。

例) ご利用限度額 **50万円** ▶ 毎月返済額 **10,000円**

マイプランのメリット

① 必要な時に必要なだけ

ろうきんはもちろん、他行やコンビニエンスストアのATMでもご利用できます。
しかも**引出し手数料は実質0円!**

② ワイドで低金利

限度額(最高500万円)まで、何度でもご利用できます。限度額にかかわらず同一の低金利だから、手軽にお使いいただけます。

③ 簡単便利な事前審査

新規申込も限度額増額申込もインターネットで24時間事前審査申込ができます。
※事前審査後、お借入れ・増額までにはご来店の上、
正式な書類をご記入いただきます。

※審査の結果、ご融資できないなどご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。※店頭にて説明書をご用意しています。詳しくはお近くのろうきん窓口にお問い合わせください。

2016年10月1日現在

岩手労福協第70回定時総会開催

岩手労福協は2016年5月25日(月)、ホテルニューカーリーナにおいて、正会員22会員（内書面議決7会員）が出席して、第70回定時総会を開催しました。

冒頭の豊巻会長挨拶では、この一年間を振り返り、事務局が交代したこと、新労働福祉会館建設は議論の末、自己資金の壁にぶちあたり断念したことを報告。スローガンである「連帯・協同で安心・共生の福祉型社会をつくろう」という私たちの運動は、全ての働く仲間の幸せづくりに向けて大切な取り組みであり、若者の貧困問題は単に自己責任論だけで済まない、社会の持続可能性も含めて、これは危機的問題であり、これまで以上に岩手労福協の運動を進めていきたい、と抱負を述べました。

東北労金の三浦芳明氏を議長に選出して総会は進められ、第1号議案2015年度事業報告から第5号議案2016年度団体会費まで、全ての議案が満場一致で承認されました。最後に総会スローガンを確認して閉会しました。



第71回臨時総会・第86回理事会 豊巻会長が退任、 新会長に齋藤健市氏を選出

組織事情及び個別事情等により任期途中で理事の辞任が相次いだため、岩手労福協は補選を議題とする第71回臨時総会を2016年12月14日(水)に開催しました。そして、新たに4名の理事選任を満場一致で確認、この結果を受けて12月16日(金)に第86回理事会を開催して、代表理事の交代並びに会長・副会長の役員選定を協議しました。そして、新会長（代表理事）に連合岩手会長の齋藤健市理事、副会長に新たに野中靖志氏（平和環境岩手県センター議長）が選ばれ、理事会体制の再構築が図られました。尚、新理事の任期は前任者の残任期間となります。

2016～2017年度役員

会 長	齋 藤 健 市	（日本労働組合総連合会岩手県連合会）
副 会 長	砂 金 良 昭	（東北労働金庫岩手県本部）
副 会 長	来 内 広 幸	（全労済岩手県本部）
副 会 長	野 中 靖 志	（平和環境岩手県センター）
副 会 長	石 川 昌 平	（岩手友愛会）
専務理事	菅 野 健 司	（電機連合岩手地域協議会）
常務理事	八 幡 博 文	（日本労働組合総連合会岩手県連合会）
理 事	上 田 高	（一般財団法人ハビネス共済会）
理 事	佐 藤 浩 之	（消費者信用生活協同組合）
理 事	高 橋 克 公	（岩手県学校生活協同組合）
理 事	鈴 木 圭	（岩手県東北電力関連産業労働組合総連合）
理 事	佐 藤 淳 一	（岩手県教職員組合）
理 事	谷 藤 学	（情報労連岩手県協議会）
監 事	法領田 万寿男	（全労済岩手県本部）
監 事	菅 原 芳 勝	（東北労働金庫岩手県本部）

北部労福協「第41回研究集会」

北部労福協は、2016年10月17日(月)～18日(火)の日程で釜石市「宝来館」において「第41回研究集会」を開催しました。北海道・東北各県労福協から39名が参加、岩手労福協が設営を担当しました。

初日は、基幹労連岩手県本部の三浦一泰委員長から「あの時を振り返る」と題して講演をいただき、続いて「釜石、あの日、あの時甚句」と題して、宝来館女将の岩崎昭子さんのお話と北村弘子さんと藤原マチ子さんによる震災のつらい経験を甚句にした歌を聞きました。二日目は、街全体が甚大な津波被害を受けた「陸前高田市」に行き、復興の進み具合を直接見聞しました。高上げのための土砂運搬が終わり巨大ベルトコンベヤーが撤去されておりましたが、街の再生にまだまだ長い年月がかかることを現地ガイドから説明を受けました。

東日本大震災から5年が経過、あの震災を風化させることなく、今後も引き続き復興支援に取り組むことの意義を再確認した集会となりました。



熊本地震への義援金

2016年4月14日・16日に発生した「平成28年熊本地震」は、熊本地方を中心に甚大な被害をもたらしました。一連の地震災害で尊い命を失われた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

北部労福協は、2016年5月16日開催の幹事会において見舞金を贈ることを全会一致で確認、30万円（各道県労福協から4万円）を熊本県労福協へ贈りました。加えて東日本大震災時に、熊本から東北被災3県に対して多額の義援金をいただいた経緯があり、恩返し之意を込めて、2016年7月に岩手労福協から熊本県労福協へ義援金30万円を贈りました。

福島県労福協からの台風被害義援金

2016年8月30日上陸した台風10号被害に対する義援金として、福島県労福協から当労福協に10万円が贈られました。この義援金は内部協議を行い、年明け後の1月6日（金）、岩手県社会福祉協議会に全額寄附しました。県社協では、被災地へのボランティア派遣の他に、「台風被害支援金」を創設して仮設入居者へ家電6点セットを贈る取り組みを行っております。対象は約250世帯。この度の福島県労福協からの善意は、この活動に役立てていただくことになりました。

2016年度退職準備サポート研修会

今年度の退職準備サポート研修会は、県内3地区において下記日程で開催されました。講師陣は例年通り日本年金機構並びに各事業団体に依頼、年金制度の概要から退職後のお金活用策や保障設計・医療設計などについて講演していただきました。また研修会の充実を図るため、今回は事業団体の講演時間を10分延長。参加者は昨年の半数程度でありましたが、アンケートの回答を見ると8割強の方から「良かった」との回答がありました。

退職準備サポート研修会は、退職後の生活設計や年金・社会保険等について学んでいただき、退職後の生活に少しでも役立てていただこうという趣旨で、2003年から開催しております。この趣旨を継承し、来年度も退職準備サポート研修会を開催していく方針です。



日 程	地 区	会 場	参加者
2016年9月17日（土）	北上	北上商工会議所	43名
2016年9月24日（土）	気仙	気仙教育会館	11名
2016年10月1日（土）	盛岡	アイーナ	39名

2016年度岩手県知事との懇談会

岩手県知事と労福協主要構成8団体との交流と親睦を目的とした「岩手県知事との懇談会」が、2016年10月14日（金）、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングで開催されました。

今年は希望郷いわて国体と希望郷いわて大会の合間を縫って日程が設定され、達増知事からは国体の総括と震災復興の進捗状況ならびに県政課題等が挨拶の中で述べられました。参加団体の皆様からは、事業状況と取組み課題等について御紹介いただき、達増知事との懇親を深めました。

知事懇談会は、2001年安藤会長・増田知事時代から実施しており、途中何回かの中断を挟みながら今回で10回目、達増知事とは7回目となりました。



第4回労働者自主福祉運動の理念・歴史講座の開催

2016年11月5日(土)、盛岡市「大通会館LiRiO」において、第4回労働者自主福祉運動の理念・歴史講座が各方面から28名が参加して開催されました。今年で3年目の取り組みとなる本講座は、労働運動・労働者自主福祉運動の理念・歴史を学び、職場・地域で労働者自主福祉運動の推進を図るための知識を習得することを目的としております。

第1部は、中央労福協の選任講師である高橋均アドバイザーを迎え、「歴史から学ぶ労働運動・労働者自主福祉運動の理念・課題」と題し、労働者自主福祉運動の歴史、事業団体と労働組合の関係や再構築に向けた課題等の講演をいただきました。第2部では、事業団体を代表してハピネス共済会と消費者信用生協から、事業の歴史と内容・課題等について報告をいただきました。



第28回岩手県勤労者野球大会

岩手県知事杯争奪「第28回岩手県勤労者野球大会」は、2016年10月23日(日)、雫石町町営鶯宿グラウンドで8チームが参加して熱戦が繰り広げられました。

大会当日は天候に恵まれ、秋晴れの空の下、トーナメント方式で全7試合が行われました。今年の決勝戦は、北上地区選抜の「永愛友クラブ」チームと盛岡地区選抜の「岩手オフィス用品コクヨクラブ」チームの対戦となり、規定回数の7回までに決着がつかず、大会史上初めてとなる延長戦に突入して特別ルールを適用。最終的に「岩手オフィス用品コクヨクラブ」チームが接戦を制して知事賞(優勝)の栄を勝ち取りました。

団体賞

優勝 岩手オフィス用品コクヨクラブ(盛岡)
準優勝 永愛友クラブ(北上)
第3位 イワフジ工業(胆沢)
第3位 岩手開発レールウェイ(気仙)

個人賞

最優秀選手賞 上野克浩(コクヨクラブ)
殊勲賞 村山大祐(コクヨクラブ)
敢闘賞 浅沼竜磨(永愛友クラブ)



優勝/岩手オフィス用品コクヨクラブ

ZENROSAI NEWS
0316A003

全労済では 自賠責共済を取り扱っています!

自動車損害賠償責任共済

ご契約車両を運転中に、他人にけがをさせたり、死亡させたりした場合の対人賠償事故を補償します。

自賠責共済とは?

自動車損害賠償保障法によって道路を走るすべての自動車(二輪車を含む)、原付自転車に加入が義務づけられている共済(保険)です。

死亡	最高 3000万円
けが	最高 120万円
後遺障害	程度に応じて 4000万円～75万円

もし自賠責共済(保険)に加入していないと?

未加入で運行した場合、法律により罰せられます。

6ヵ月の免許停止(違反点数 8点)

1年以下の懲役と50万円以下の罰金

原付・バイクをお持ちの方は特に注意!

車検制度のない原付・250cc以下のバイクは自賠責共済(保険)の有効期限切れに特に注意が必要です。今一度、有効期限のご確認を!

満期年 10 満期月

マイカー共済とあわせてのご加入をおすすめします。

●ここに記載されている内容は、凡済商品の概要を説明したものです。

全労済岩手県本部(岩手県労働者共済生活協同組合)

- 盛岡支所 TEL 019-622-0631
- 北上支所 TEL 0197-65-0160
- 一関支所 TEL 0191-26-2678
- 釜石支所 TEL 0193-21-1122

保障のことなら

全労済

全労済は、繁栄を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全国労働者共済生活協同組合連合会

第35回

岩手県勤労者美術展

今年で35回目となる「岩手県勤労者美術展」は、盛岡市民文化ホールの展示ホール（マリオス4F）を会場に2016年11月17日（木）～11月20日（日）までの4日間の日程で開催されました。今年的美術展には、県内各地から絵画・写真・書道の3部門にトータル203点もの大作・力作が揃い、期間中に約250名の来場者がありました。

審査は各部門の専門家の先生に依頼、入賞者には11月20日（日）午後12時30分から開催された表彰式で賞状の授与が行われました。岩手県知事賞は岩手県商工労働観光部雇用対策・労働室の工藤直樹課長から、各部門の優秀賞・奨励賞・佳作については労福協の菅野専務理事から、それぞれ賞状と副賞が贈られました。最後に、審査員を務められた各部門の先生方から総評をいただき閉会しました。

この美術展は、県内の勤労者とその家族に芸術表現の機会を提供し、文化創造活動を高め文化教養の向上を図るとともに、親子のふれあい、明るい職場環境と人間関係・家族関係を形成し、福祉の増進に期することを目的に開催しております。次回の第36回美術展は、2017年11月23日（木）～26日（日）の日程で盛岡市民文化ホールにて開催します。たくさんのご出展をお待ちしております。

〔来場者〕 約250名

〔出展数〕 203点（絵画56点・写真100点・書道23点、切り絵24点）

審査員 絵画 種倉紀昭（主体美術協会会員／岩手芸術祭洋画部門常任理事）
写真 小川文男（岩手県写真連盟会長／二科会写真部会員）
書道 吉田晨風（岩手書道協会副会長／岩手日報書展常任理事）



書道 知事賞受賞作品



絵画 知事賞受賞作品



写真 知事賞受賞作品

入賞者と作品名

岩手県知事賞

絵画部門 佐藤英子「Work-深層心理『明と暗』」
写真部門 高橋匠「祭礼」
書道部門 大矢幸一（瑞峰）「七歩詩」

入賞者

〔絵画部門〕

優秀賞 辻 齊 一「晩秋の里」
奨励賞 巢鴨 尋 子「大地の記憶」
// 大久保 義 雄「暖」
佳作 荒井 賢 二「丸瀬布の恋人」
// 瀬川 睦 子「伝統さんさ」
// 平野 茂 子「赤とんぼ」
// 浅沼 正 夫「昼下がりのホイワソ」
審査員特別賞 玉川 浩 嗣「秋色の風」

〔写真部門〕

優秀賞 原子内 貢「白い弾丸」
奨励賞 福盛田 弘「瞬光」
// 大槌 國 雄「担ぐ」
// 照井 俊 男「秋の田園で遊ぶ子等」
佳作 小川 正 子「フナバラガにとまるとオドシチョウ」
// 上野 通 三「星めぐり」
// 山田 恵 子「晴れ間に舞う」
// 伊藤 憲 子「日影」
// 立花 拡 子「幸せ、あ、げ、る」
親子ふれあい賞 板垣 弘 清「いのちの鼓動」
// 北井崎 昇「一心同体」
// 及川 文 夫「そうめん祭り」
審査員特別賞 黒木 義 則「天からの贈り物」

〔書道部門〕

優秀賞 伊藤 祐 子「王漁洋詩」
奨励賞 三浦ヨウ子（香蘭）「査慎行の詩」
佳作 佐々木光子（洗翠）「馮延登句」
// 片方正 明「漢詩句」
// 吉田貞子（光穂）「光定戒牒」
審査員特別賞 鈴木里美（青穹）「陸卿子詩」

〔切り絵〕

特別賞 小倉 善 文「展勝地花魁道中」

ホームページのご案内

岩手労福協では、ホームページを開設いたしております。イベント予定・活動報告等を掲載しております。是非ご活用下さい。

ホームページ <http://iwate.rofuku.net>

ライフサポートセンターいわて相談状況

ライフサポートセンターいわては、県内各地区における勤労者とその家族の暮らしの安心と豊かさをめざし2008年から相談業務を行っています。2015年度相談状況は下記のとおり、年間総相談件数346件（対前年▲20件）ですが、相談内容に変わりなく生活相談（心の悩み）を中心です。2016年度の状況は、2016年4月から12月末までに305件の相談を受付けており、依然として相談内容は深刻で多岐に亘っています。

センター設立時からの相談件数推移

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
件数	95件	254件	319件	246件	280件	476件	366件	346件

(1)相談内容の内訳

	総件数	労働相談	法律・税務	子育て	金銭問題	生活相談	社会保障
2015年	346件	51件	35件	1件	20件	233件	6件
%		14.7	10.1	0.3	5.8	67.3	1.7
2014年	366件	49件	67件	3件	23件	212件	12件
%		13.4	18.3	0.8	6.3	57.9	3.3

(2)男女別の相談件数

	総件数	男	性	女	性
2015年	346件	82件	23.7%	264件	76.3%
2014年	366件	103件	28.1%	263件	71.9%

(3)年齢別の相談件数

	総件数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明
2015年	346件	0件	2件	106件	48件	123件	49件	14件	1件	3件
%		0.0	0.6	30.6	13.9	35.5	14.2	4.0	0.3	0.9
2014年	366件	0件	8件	91件	73件	91件	63件	24件	6件	10件
%		0.0	2.2	24.9	19.9	24.9	17.2	6.6	1.6	2.7

(4)ライフサポートセンターいわてを知ったルート

	件数	広報紙	便利帳	新聞	電話帳	チラシ	紹介	HP	その他
2015年	144件	1件	11件	53件	34件	10件	4件	20件	11件
%		0.7	7.6	36.8	23.6	6.9	2.8	13.9	7.6
2014年	211件	5件	16件	72件	65件	14件	9件	9件	21件
%		2.4	7.6	34.1	30.8	6.6	4.3	4.3	10.0

労福協からのお知らせ

2017年新春交賀会

- (1)日 時 2017年1月26日(木) 午後5時30分～
- (2)会 場 ニューカーリーナ 2階「アイリス」
- (3)会費制 お一人5,000円
- (4)対象者 岩手労福協の正会員(22団体)

第21回岩手県勤労者ボウリング大会

- (1)日 時 2017年2月4日(土) 午前10時00分集合
- (2)会 場 盛岡スターレーン(盛岡市中野)
- (3)参加申込 10チーム(40名)先着順、参加費1チーム4,000円

第13回文化講演会

- (1)日 時 2017年2月18日(土) 午後1時30分開演
- (2)会 場 ホテルメトロポリタン盛岡本館「岩手の間」
- (3)内 容 講師 森永卓郎氏(獨協大学教授、経済アナリスト)
演題「格差社会と生きること」
- (4)定 員 先着200名、参加無料(但し入場整理券必要)

ヨガ教室

盛岡地区

- (1)日 時 2017年3月4日(土)
午前9時30分～
- (2)会 場 アイーナ 6階「世代間交流室」
(盛岡市盛岡駅西通)
- (3)参加申込 30名程度、無料

北上地区

- (1)日 時 2017年3月18日(土)
午前9時30分～
- (2)会 場 北上商工会館 3階「大ホール」
(北上市青柳町)
- (3)参加申込 30名程度、無料

岩手県民のくらしに一番みぢかな保障でありたい。

もしもの入院…、通院…に備える

医療
共済 **ハビネス**
団体型医療保険

ハビネス共済会

一般財団法人 ハビネス共済会

〒020-0821 岩手県盛岡市山王町10番6号 山王ハイツ
TEL.019-652-3195(代)・FAX.019-654-7262

0120-413816



売主さん・貸主さん募集中!!

(公社)全日本不動産協会会員
(公社)不動産保証協会会員
東北地区不動産公正取引協議会会員
岩手県知事免許(2)第2323号

不動産賃貸・売買のことなら

くもようざいライフ不動産事業部

〒020-0821 盛岡市山王町10番6号 山王ハイツ2F ハビネス共済会隣り

TEL.019-626-0002 FAX.019-626-3901

そうだ
暮らしの
問題

**解決の糸口を
見つけに行こう!**

- 借金の返済が苦しい ● 教育資金や車のローンが組めない
- 生活資金が不足している ● 身内の借金で悩んでいる
- 保証人になって請求されている ● 相続で悩んでいる

悩んでいるあなたのお電話をお待ちしています。

CFC
信用生協

消費者信用生活協同組合

〒020-0874 岩手県盛岡市南大通1-8-7 CFC第1ビル2F

ホームページ <http://www.cfc-ss.coop/>

フリーダイヤル

0120-101-245

お問い合わせ・ご相談は
お近くの事務所に

**自治体提携
救済資金貸付制度**

債務整理や生活再建に必要な資金
(教育資金、車購入資金など)
としてご利用いただけます。



岩手県内または青森県内にお住まい、
またはお勤めの方が所定の出資金によ
り当組合に加入いただくことでご利用
いただけます(貸付の際は審査がございます)

- 盛岡事務所 ● 青森事務所
- 北上事務所 ● 八戸事務所
- 釜石事務所

自治体との提携による消費者救済資金貸付制度と生活再建に必要な資金貸付制度がございます。


岩手県学校生活協同組合

個人宅配 共同購入

学校生協に
加入して
利用しませんか

商品をご自宅まで
配達します。
カタログでラクラク
お買い物！



自宅でカタログを見て注文。
商品も自宅に届きます。

(食品・雑貨・CD・本・衣類等 毎週約4,000点)

●配達料金1ヶ月…411円(税込)

コープ東北の
インターネットサービス

あっと

@コープ

お問い合わせは

岩手県学校生協 本部
(平日 8:30～17:30)



0120-112246
フリーダイヤル (無料)

岩手県学校生協 検 索
<http://www.igcoop.or.jp/>

**秘密
厳守**

勤労者の皆さんの様々な悩み事やご相談に対応いたします。



サ ポー ト
0120-804-340 に

お電話ください。

労福協の

ライフサポートセンターいわてが
あなたを応援します。

相 談 無 料

相談日 月～金曜日の平日

時 間 午前10:00～午後5:00

※専門家等に相談する場合は、別途料金がかかる場合があります。

「ライフサポートセンターいわて」は、勤労者の皆さんの生活支援を目的として、(一社)岩手県労働者福祉協議会を中心に、関係団体が協力して立ち上げた組織です。お気軽にお電話ください。

面接相談可